

鳥取県のブドウ園におけるダニ類の発生種および発生時期

1 情報・成果の内容

(1) 背景・目的

本県におけるブドウ圃場において、年次変動はあるもののダニ類が多発生する園地もみられ、生産現場から防除対策が要望されている。そこで、ハダニ類を効率的に防除するために、県東中部におけるダニ類の発生種及び発生時期を明らかにした。

(2) 情報・成果の要約

- 1) 県東中部のブドウ園におけるダニ類の発生種はブドウヒメハダニ、カンザワハダニであった。
- 2) 発生時期は、ブドウヒメハダニは5月中旬に新梢基部の寄生が確認された。また、カンザワハダニは7月中旬に葉の寄生が確認され、8月には多くの園で葉の寄生が確認された。

2 試験成果の概要

- (1) 東部5地点、中部8地点のブドウ園において、4月以降約1か月ごとに調査を行った。
- (2) 調査を実施した2025年は、梅雨明けが6月27日頃と統計開始以降最も早く、その後も高温乾燥条件であったため、ダニ類の増殖には好適であったと考えられる。
- (3) ブドウヒメハダニは1園のみで5月中旬(展葉6～7枚頃)に新梢基部での寄生が認められた。6月中旬、7月中旬調査時には新梢基部での寄生は認められなかったが、葉での寄生が認められた。また、寄生された葉では萎縮症状が見られた(データ省略)。
- (4) カンザワハダニは、調査開始の7月中旬から一部のほ場で寄生が認められ、8月中下旬頃には調査園13圃場のうち8園(約6割)で寄生が認められた(表1)。
- (5) ナミハダニの寄生葉またはブドウサビダニの被害新梢は、全ての調査園において認められなかった(データ省略)。

表1 カンザワハダニの寄生葉率および1葉あたり虫数の推移

調査園	市町村	品種	作型	調査時期		
				7月16、17日	8月18～22日	9月23、24日
				寄生葉率(%)、1葉あたり寄生雌成虫数(頭)		
A	鳥取市国府町	シャインマスカット	露地簡易雨よけ栽培	0%、0頭	45%、23.7頭	90%、8.6頭
B		シャインマスカット		0%、0頭	0%、0頭	0%、0頭
C	鳥取市河原町	瀬戸ジャアッヅ	露地簡易雨よけ栽培	0%、0頭	0%、0頭	0%、0頭
D	八頭郡八頭町	ピオーネ	露地簡易雨よけ栽培	0%、0頭	0%、0頭	0%、0頭
E		ピオーネ		0%、0頭	15%、0.2頭	5%、1.45頭
F	東伯郡湯梨浜町	シャインマスカット	無加温ハウス栽培	5%、0.1頭	80%、6.8頭	35%、0.6頭
G		シャインマスカット		0%、0頭	30%、0.9頭	45%、1.3頭
H	東伯郡北栄町	シャインマスカット	無加温ハウス栽培	0%、0頭	100%、37.2頭	15%、0.3頭
I		シャインマスカット		0%、0頭	75%、6.8頭	30%、0.4頭
J		シャインマスカット		95%、22.8頭	25%、0.8頭	15%、0.3頭
K	東伯郡琴浦町	巨峰	無加温ハウス栽培	0%、0頭	0%、0頭	30%、3.9頭
L		シャインマスカット		0%、0頭	85%、16.2頭	10%、0.2頭
M		巨峰		0%、0頭	0%、0頭	0%、0頭

注)  はカンザワハダニの葉への寄生が認められた調査園及び調査時期

3 利用上の留意点

- (1) 梅雨明けが早く、夏季が高温乾燥である条件下での調査である。
- (2) 気象条件や圃場管理によって、ダニ類の発生消長は変化する。

4 試験担当者

環境研究室	研	究	員	皆	川	雄	哉
環境研究室	室		長	北	山	淑	一